

高校生ICTカンファレンスアンケートが語る高校生の実像

2020/02/26

- 1、調査対象
高校生ICTカンファレンス2019参加高校生
- 2、期間
8月8日~10月19日
- 3、人数（人）
男：226、女：265 合計：491
- 4、フィルタリング利用者（人）（%）
男：65（28.8）
女：102（38.5）
- 5、スマホ使用に関する家庭ルールあり（人）（%）
男：31（13.7）
女：67（25.3）
- 6、フィルタリングと家庭内ルールの相関

	フィルタリング有	フィルタリング無
家庭内ルール有	46(9.4)	52(10.6)
家庭内ルール無	119(24.2)	267(54.4)

家庭内ルールの例

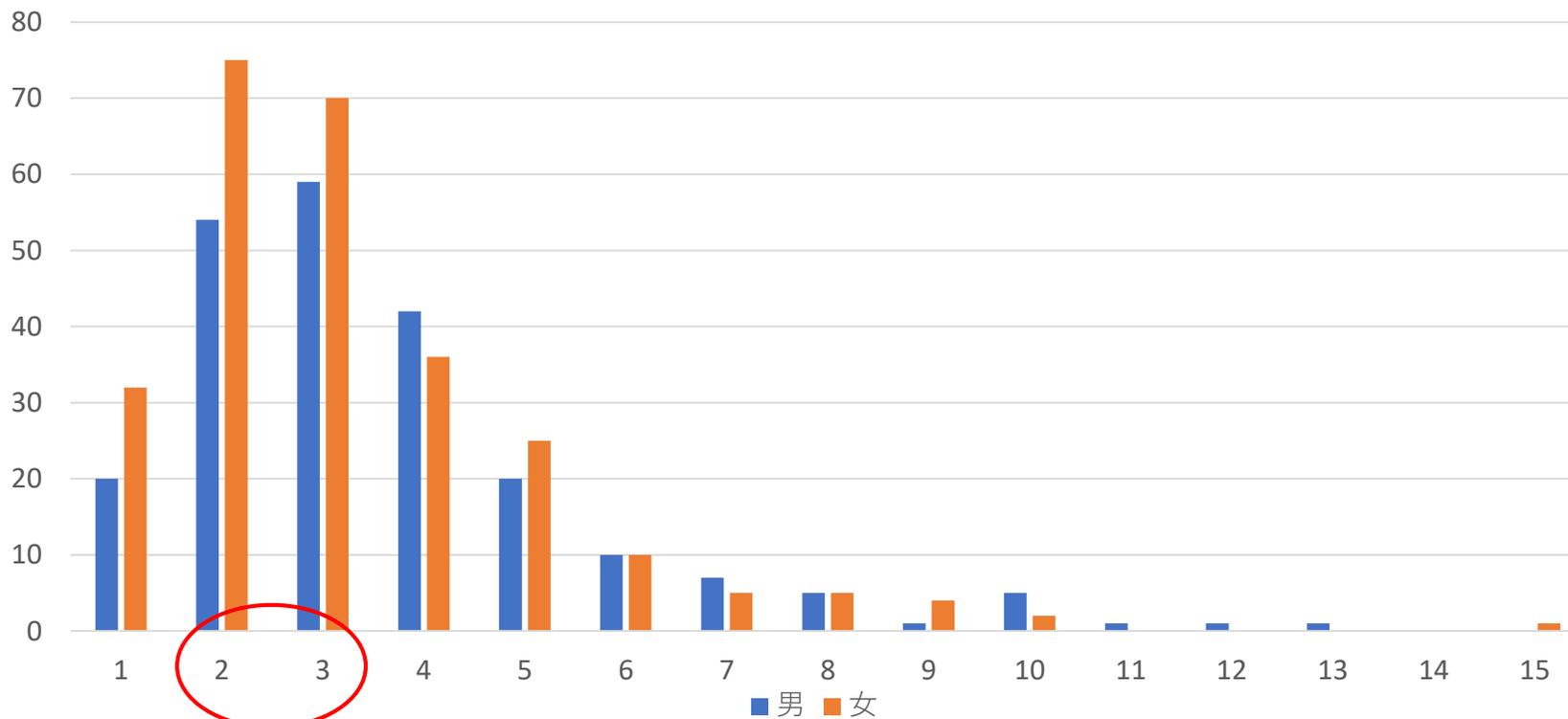
- ・使用時間制限
- ・使用場所制限
- ・課金制限
- ・GPS
- ・使用后、目を休める など

会場で事務局が直接配布回収

- 1、高校生自身が回答していること
- 2、自由意思で回答していること
- 3、会場で回答していること
- 4、匿名での回答であること

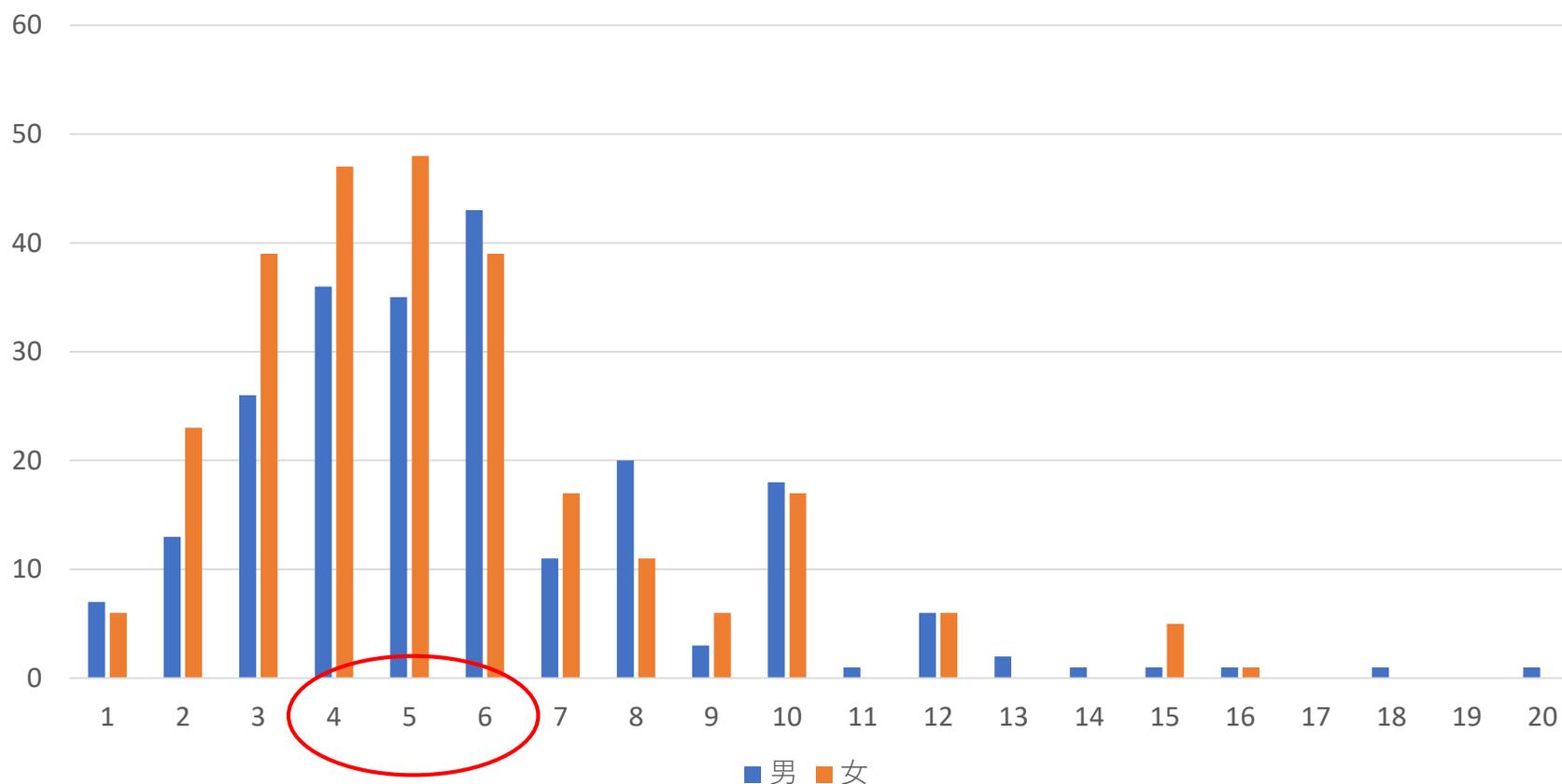
スマホの利用時間（男女別、平日）

- 男女とも利用時間のピークは2~3時間にある
- 男子はピーク以外にも広く分布
- 女子は2~3時間利用への集中度が高い



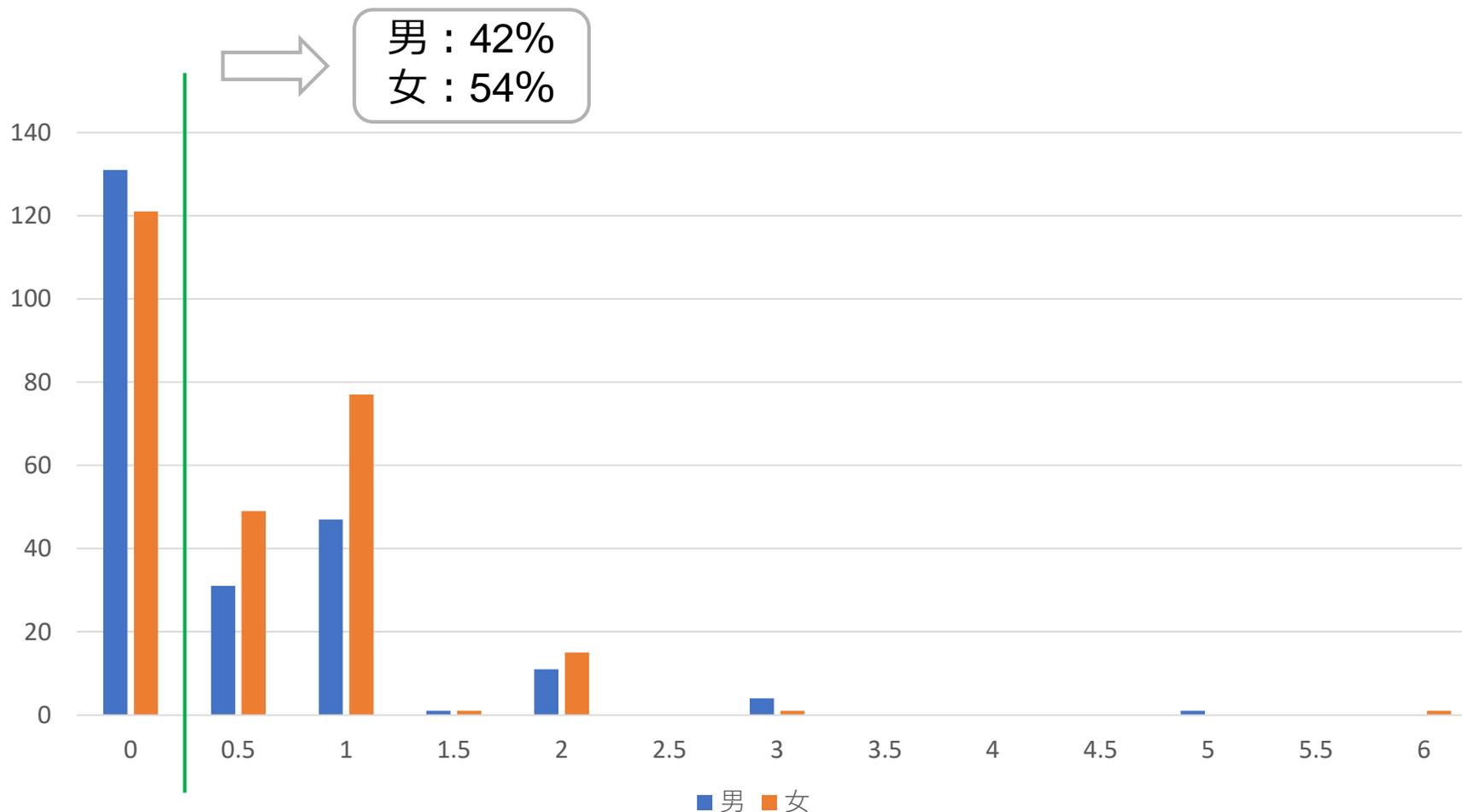
スマホの利用時間（男女別、休日）

- ・男女とも利用時間の中心は4~6時間にある
- ・男子は広く分布しているが、8時間、10時間利用が以外に多い
- ・女子は3~6時間利用への集中度が高い



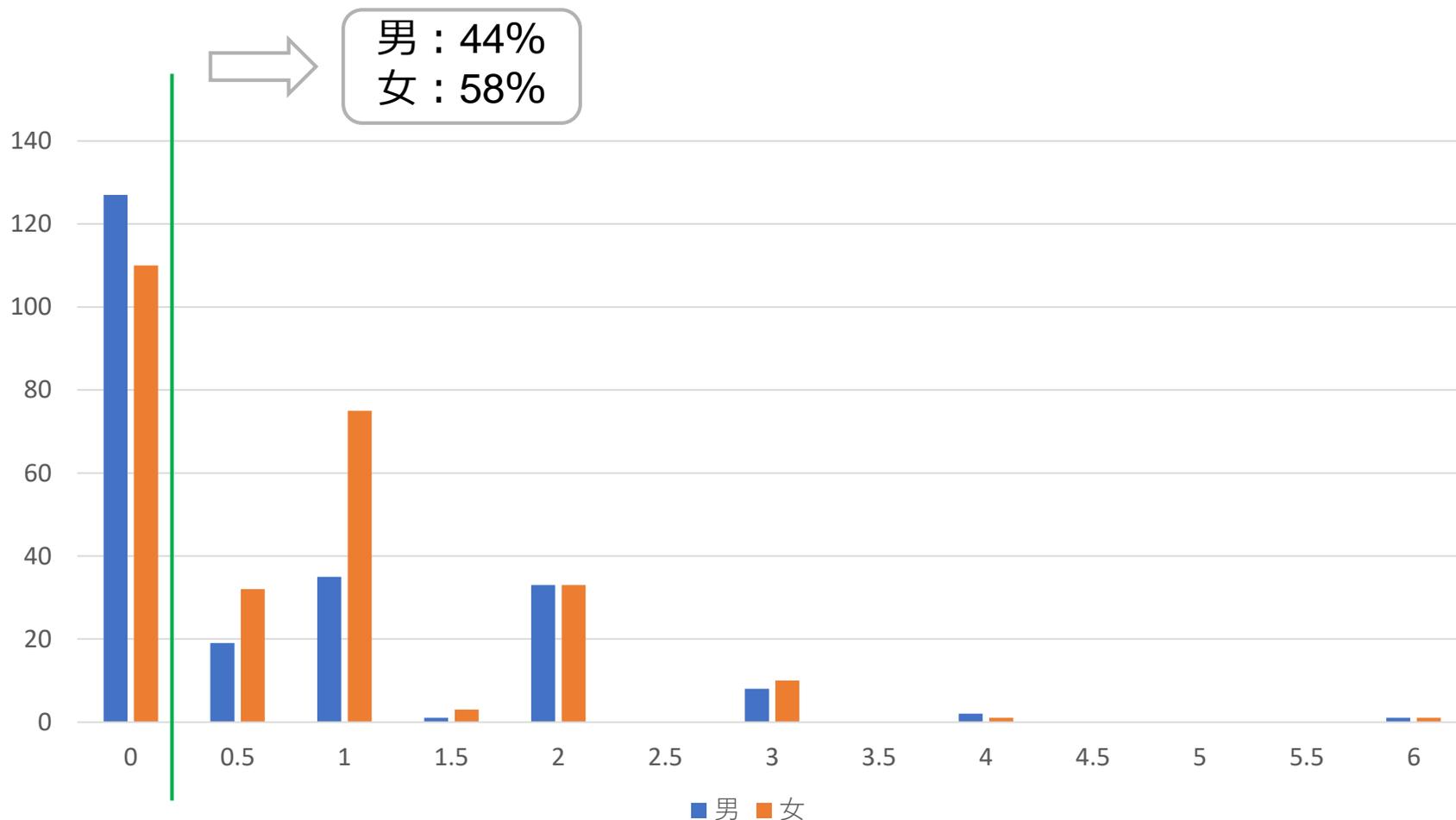
スマホでの勉強時間（男女別、平日）

- ・スマホの勉強利用は、男子42%、女子54%で女子の利用率が高い
- ・利用時間も女子の方が長い



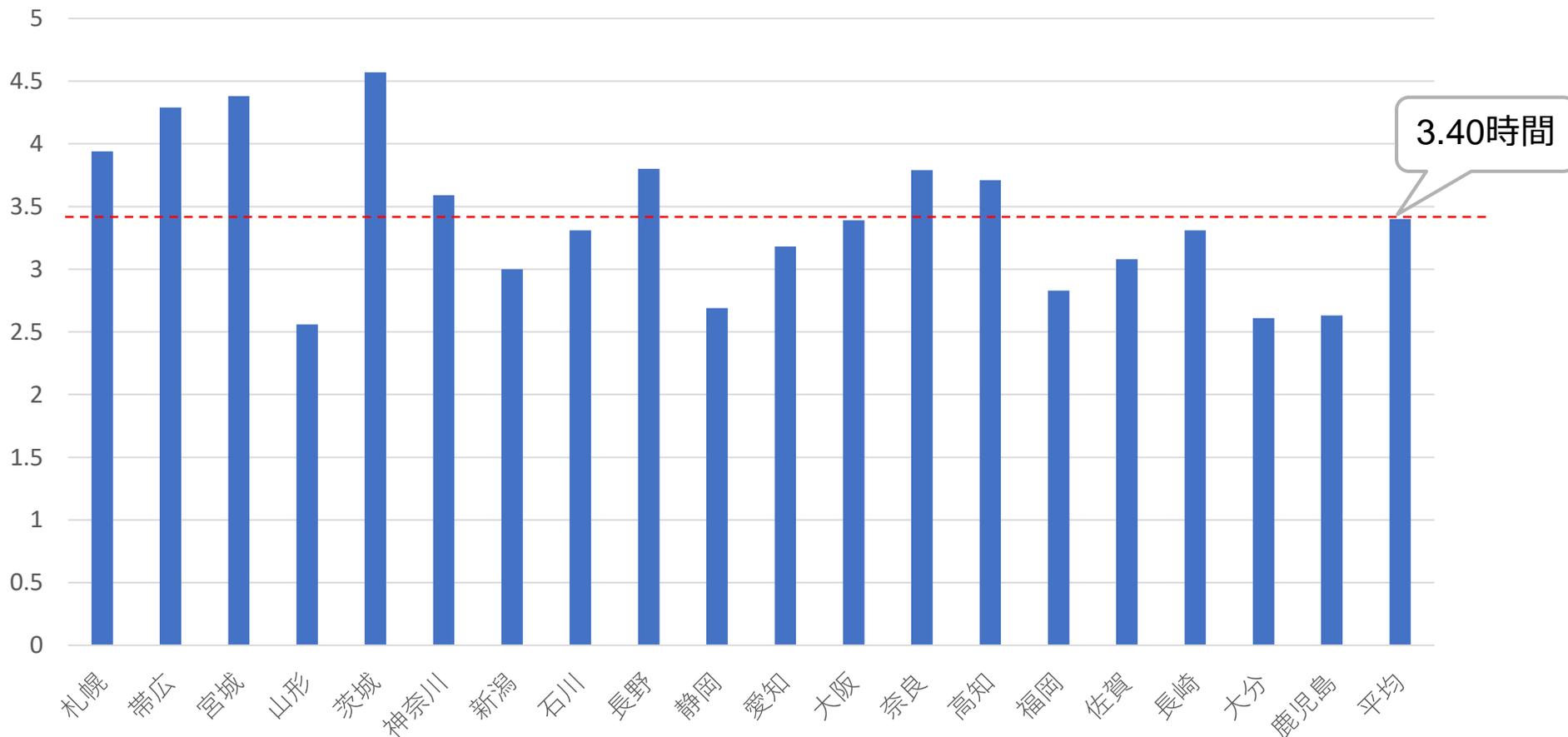
スマホでの勉強時間（男女別、休日）

- ・スマホの勉強利用は、男子44%、女子58%と上昇、女子の利用率が平日より一段と高い
- ・男女とも平日には少なかった長時間での利用者が増えている



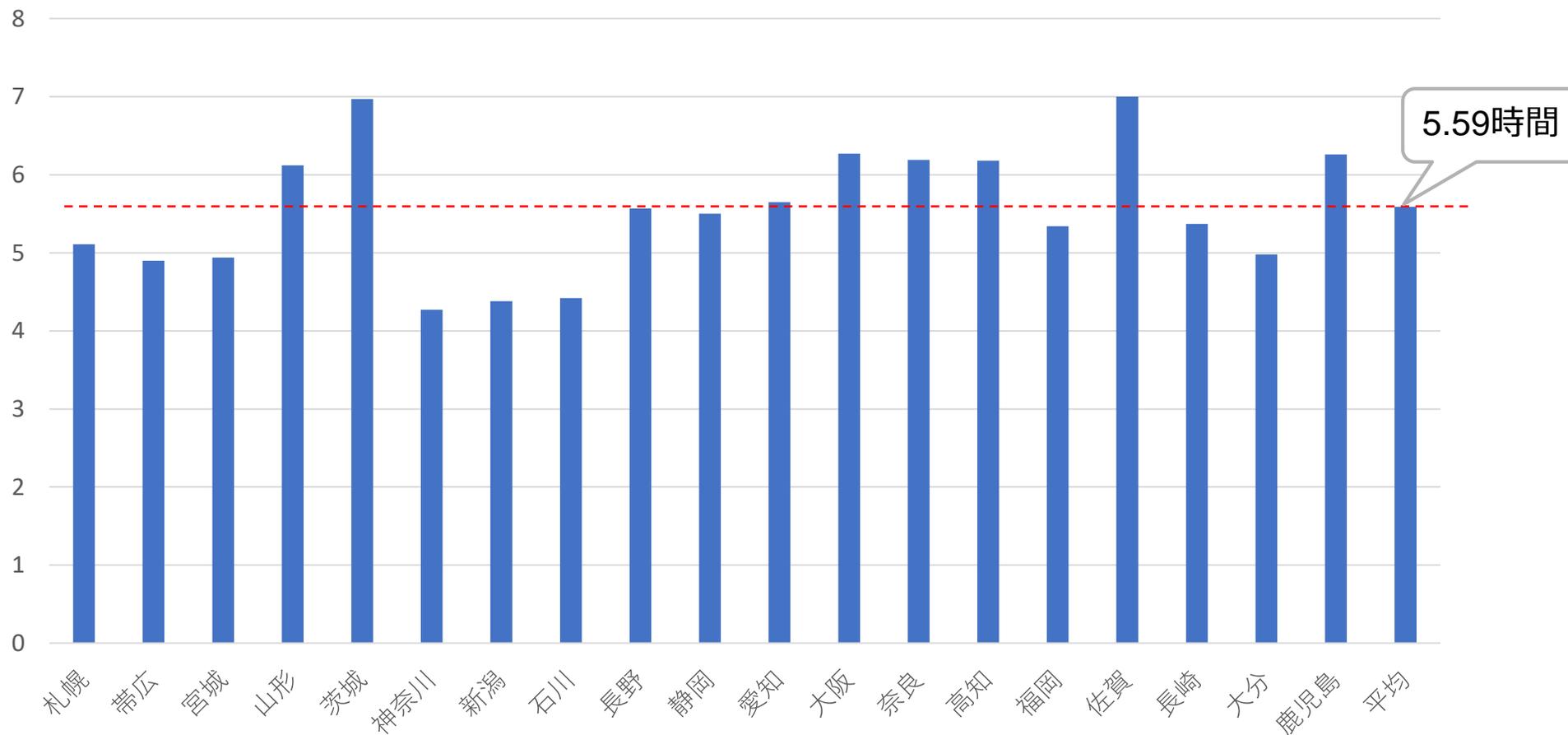
エリア別スマホ使用時間（平日）

- ・ エリアによる使用時間の格差が大きく、1.8倍程度の差がある
- ・ 北海道、宮城、茨城に長時間使用傾向がみられる



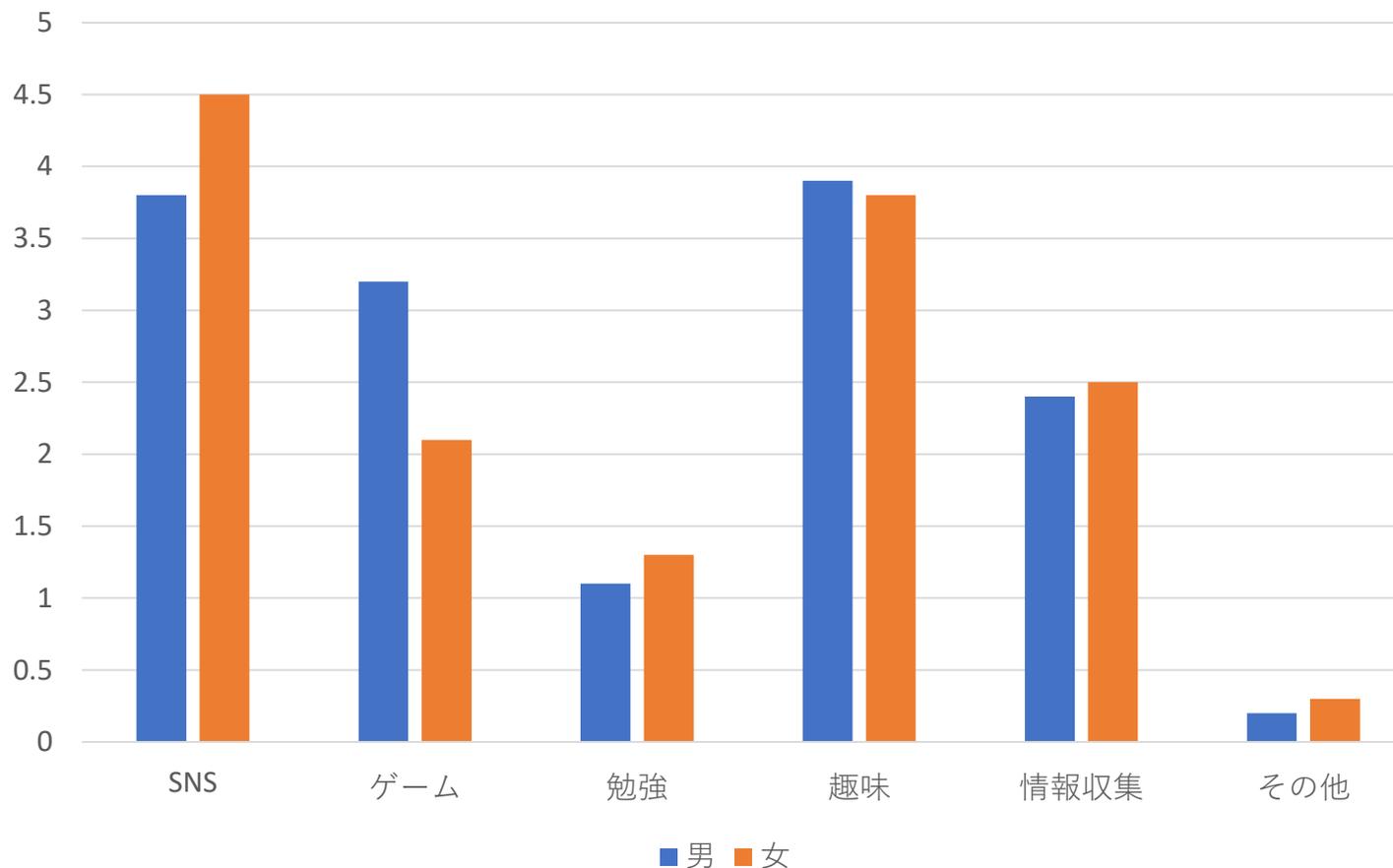
エリア別スマホ使用時間（休日）

- 平日使用と休日使用の相関関係は薄い
- 平日に比べ地域間格差が少なくなっている
- 茨城、奈良、高知が比較的平日、休日とも高い使用時間を示す



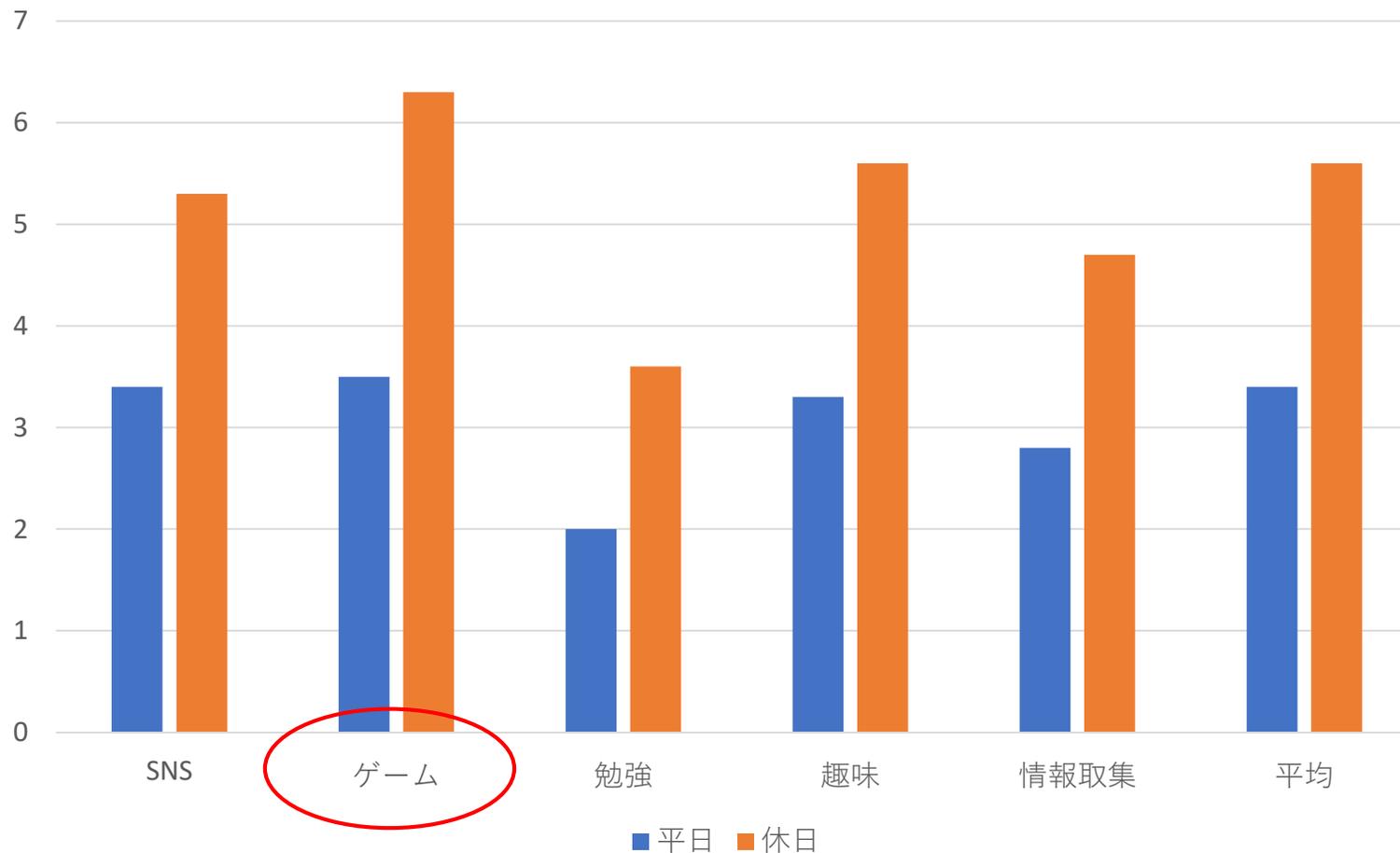
スマホの使用頻度目的毎（男女別）

- ・ 女子は、かなり高い率でSNSを頻繁に使用していることが判る
- ・ 男子は、頻繁にゲームをする傾向がある

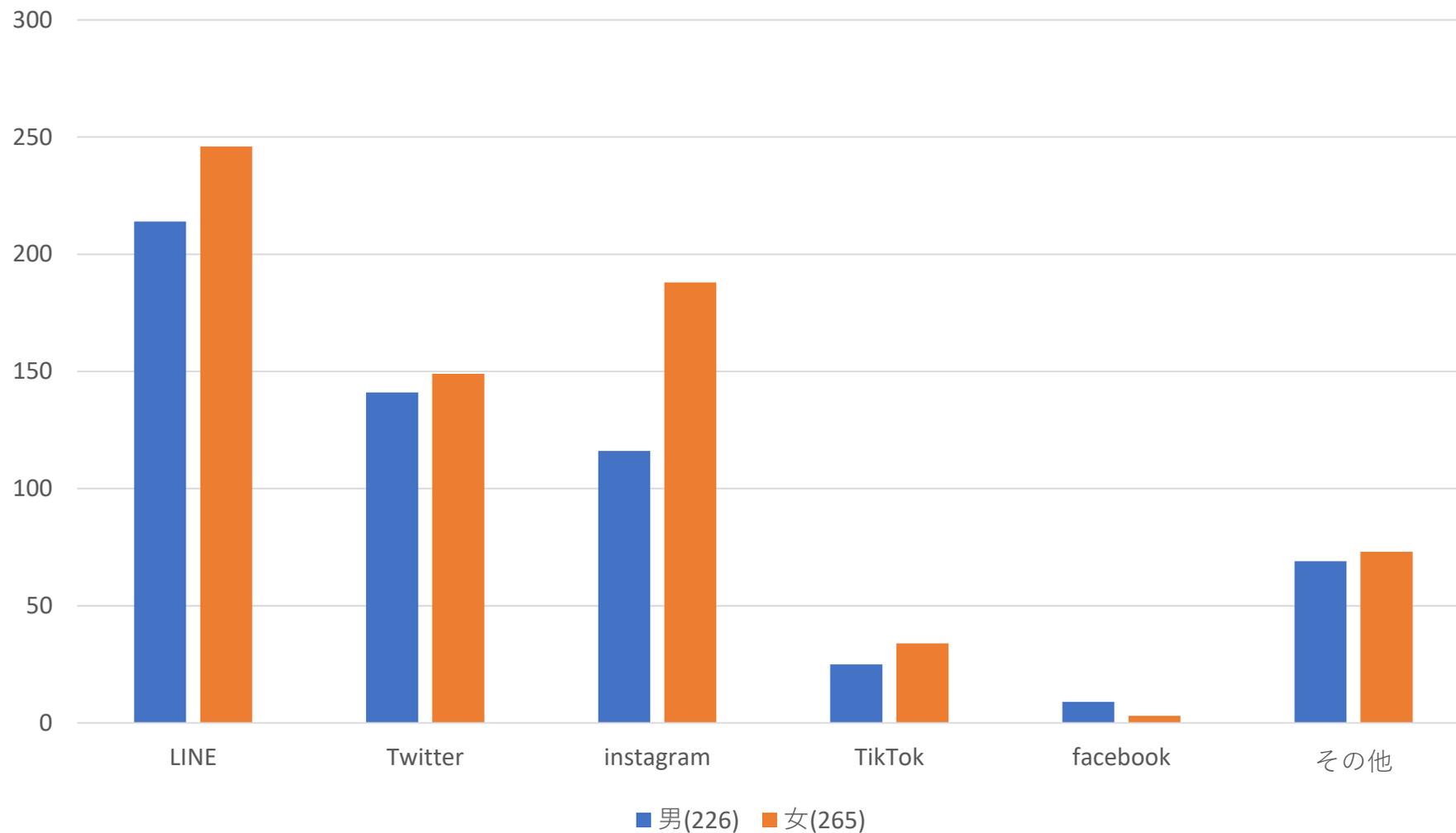


利用性向別総使用時間（平日、休日別）

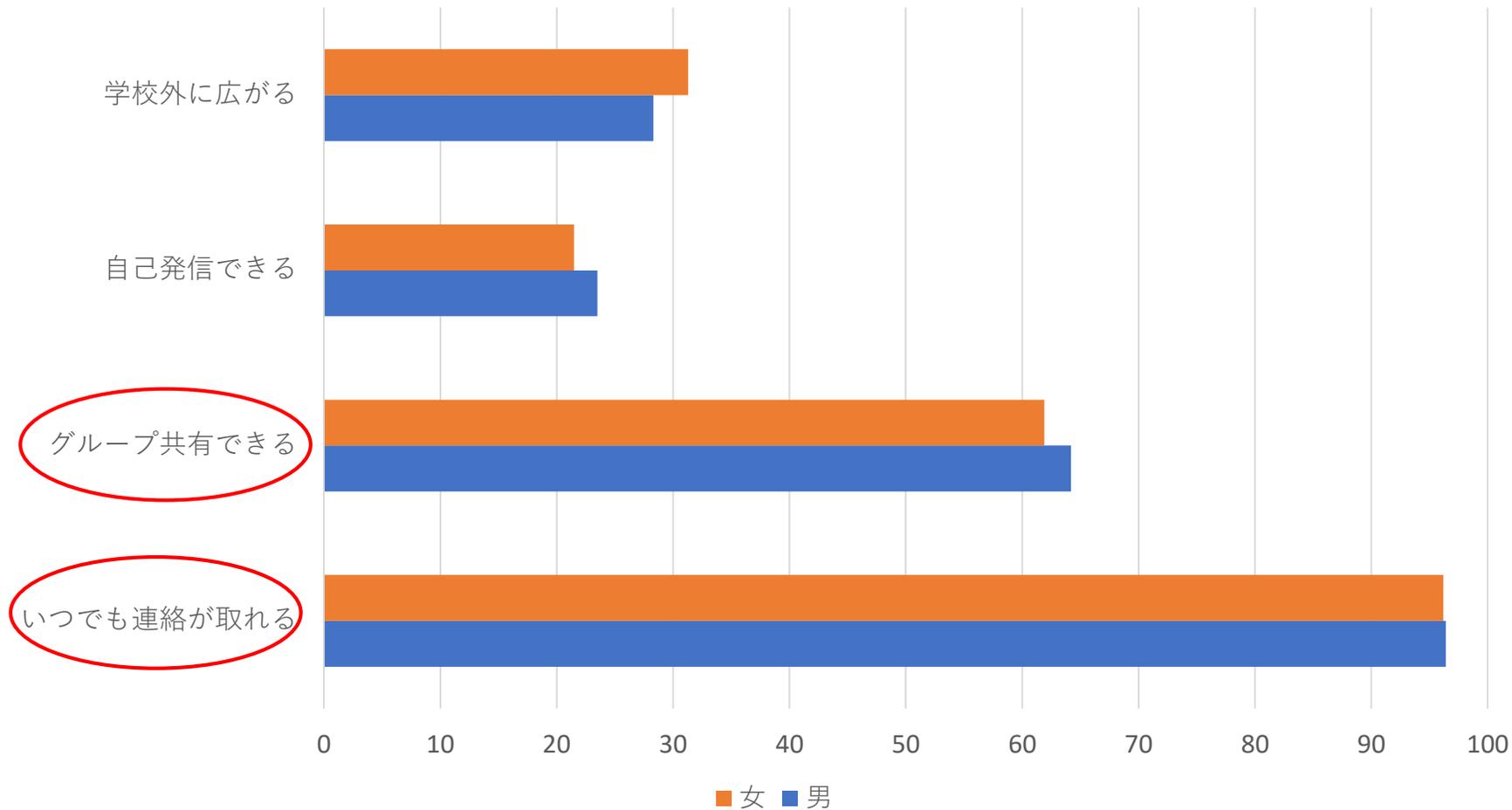
- ・平日は利用性向（最も頻繁に使う目的）による総使用時間のばらつきは比較的少ない
- ・休日はゲームに性向のある生徒の総使用時間の伸びが顕著である



主に利用されているSNS（男女別）

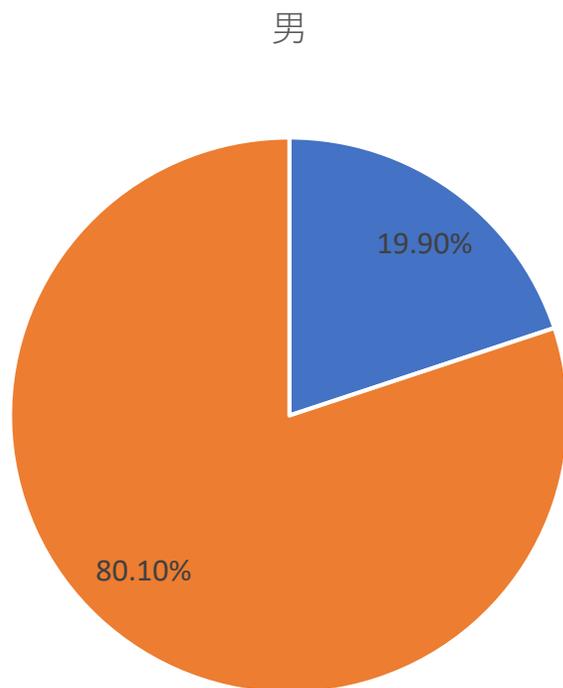


SNSの利点に関する意識

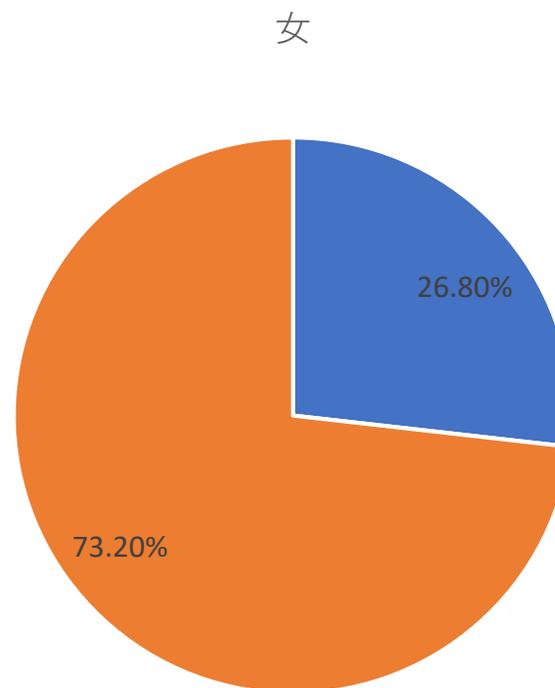


知らない人からSNSに突然連絡が来た割合（男女別）

- ・ 男女とも、2割程度以上が他人からの連絡を経験している
- ・ 傾向としては女子の方が高い



■ 連絡来た ■ 連絡なし

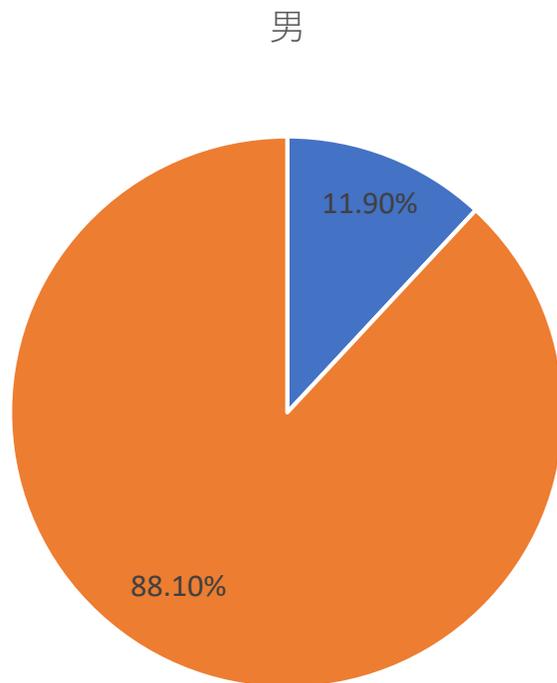


■ 連絡来た ■ 連絡なし

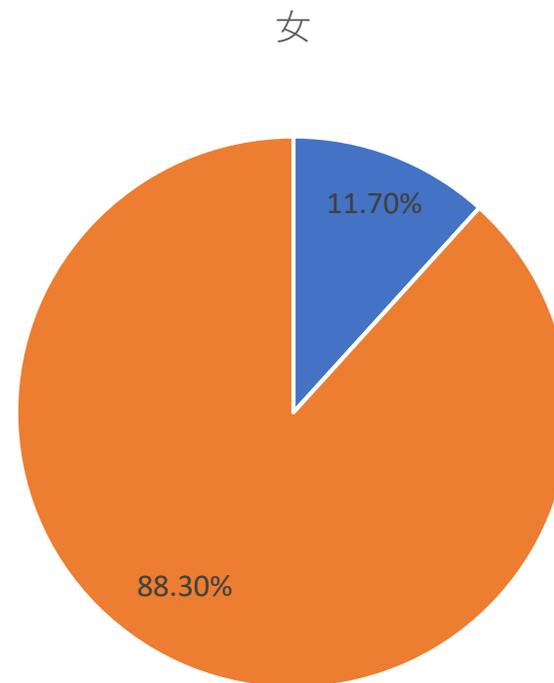
N=ALL 男226、女265

SNSいじめの認識率（男女別）

- 男女とも1割程度の生徒がSNSいじめを身近に認識している



■ ある ■ 無い

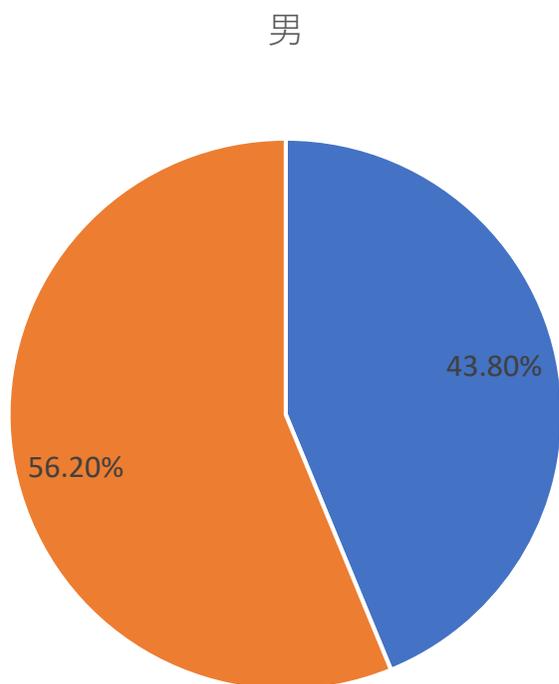


■ ある ■ ない

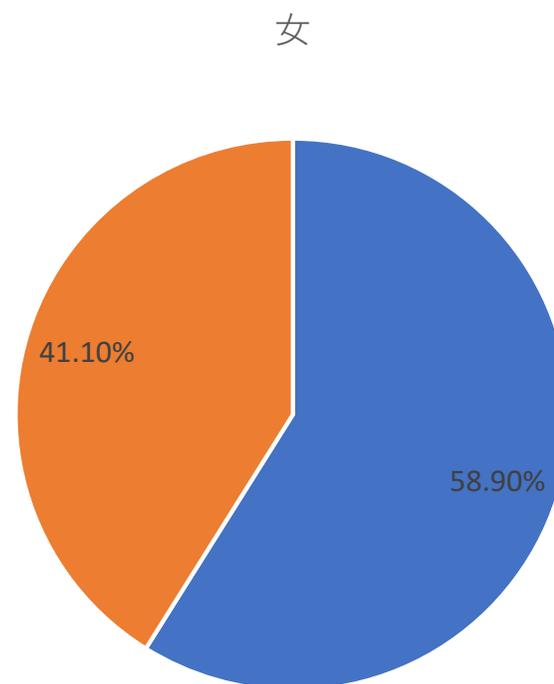
N=ALL 男226、女265

スマホ使用が勉強に懸念がある（男女別）

- 男子は44%、女子では58%がスマホの使用が勉強に影響を及ぼすと感じている



■ ある ■ 無い

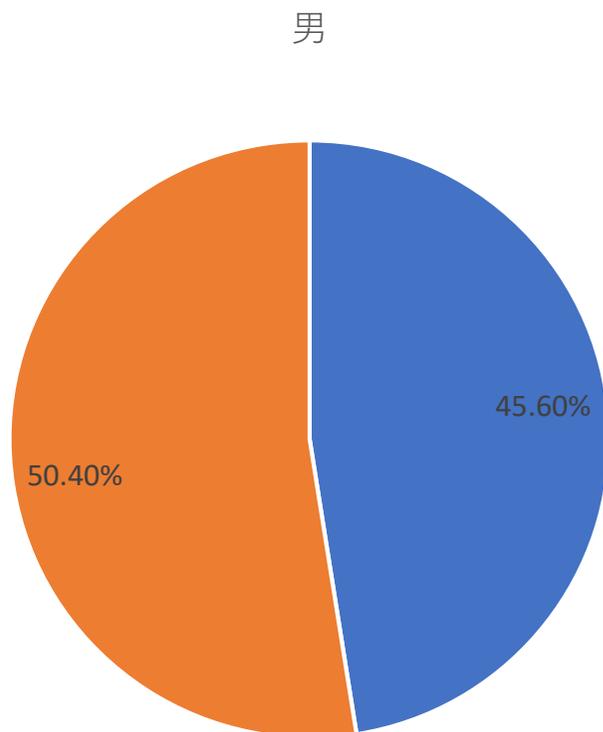


■ ある ■ 無い

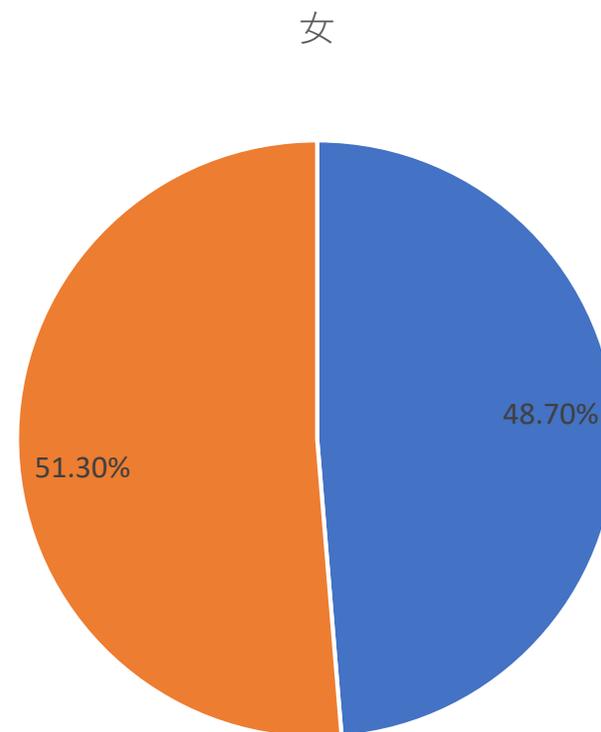
N=ALL 男226、女265

会ったことのないSNSだけの友達がいる（男女別）

- ・男女とも半数近くが会ったことのないSNS友達がいると回答
- ・高校生の交友範囲が学校というコミュニティーを超えて広がっていることが推測される



■ いる ■ いない

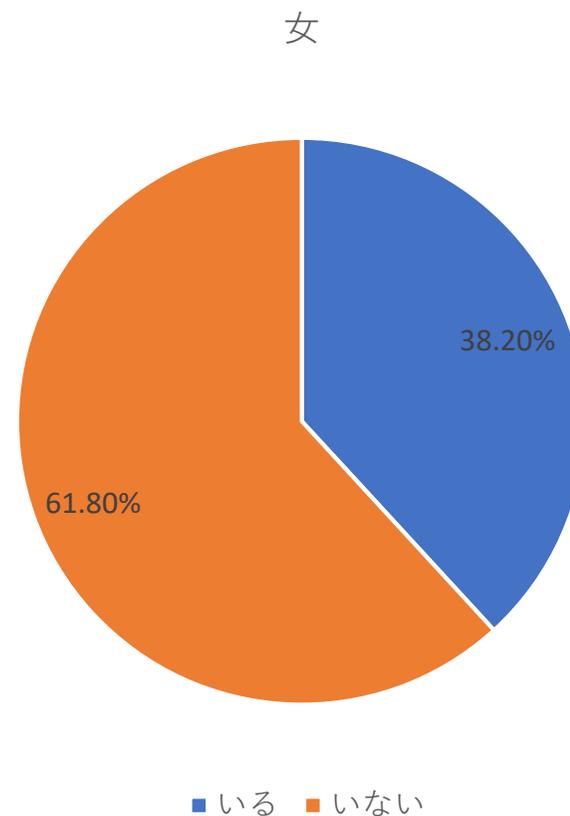
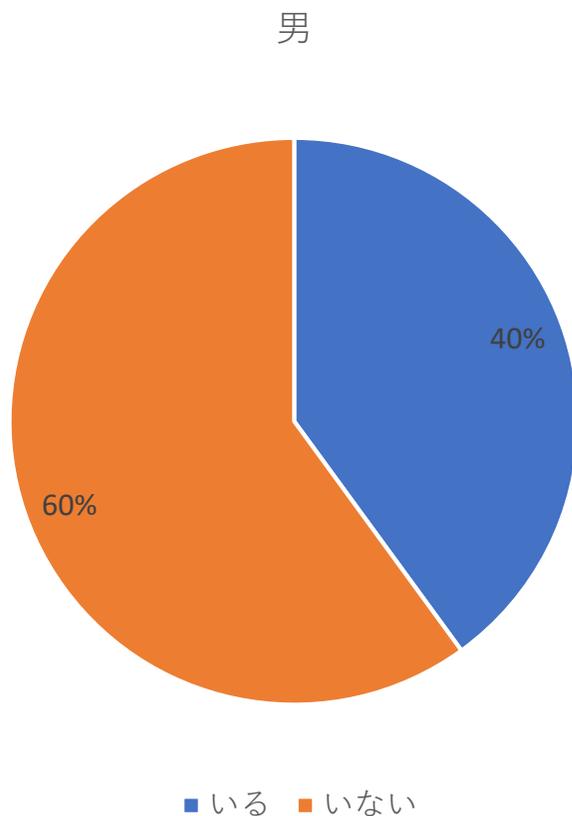


■ いる ■ いない

N=ALL 男226、女265

会ったことのないSNSだけの友達がいる（フィルタリング有）

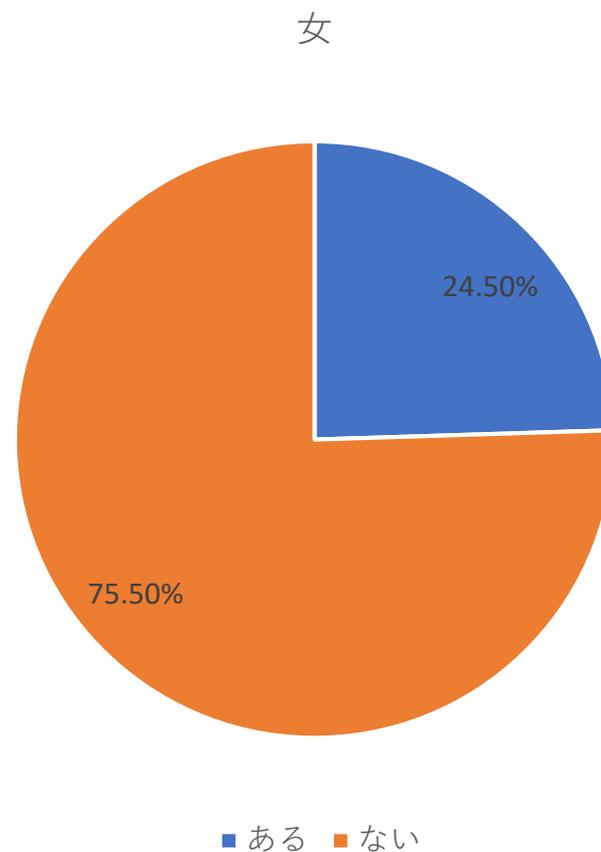
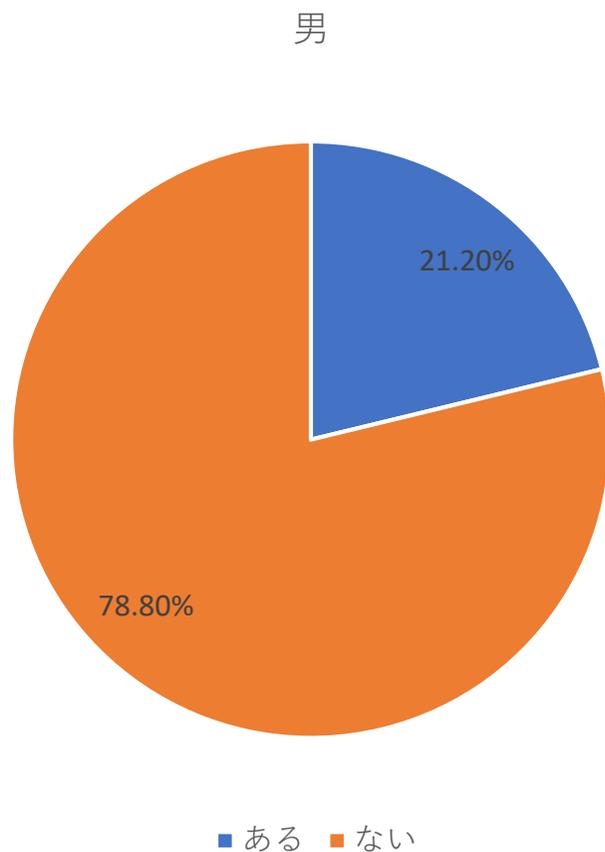
- ・フィルタリングを使用することで、外部との交友は、男子が6%、女子が11%程度減る



N=フィルタリングあり 男65、女102

SNSで知り合った友達と会った（男女別）

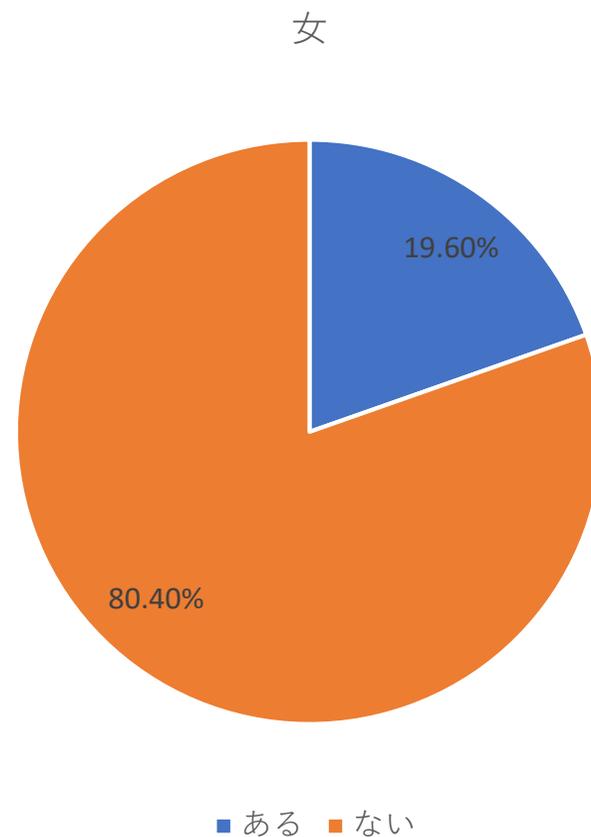
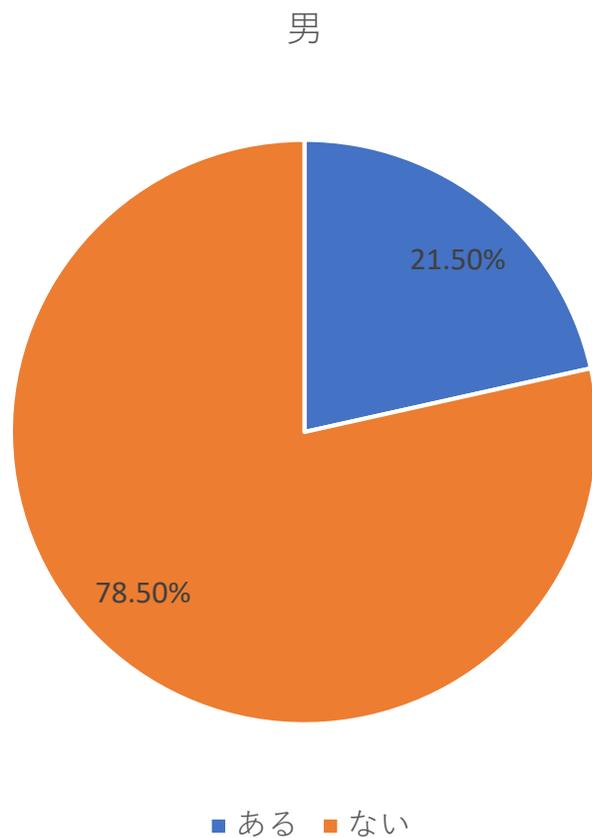
- 男子では、21%、女子では25%がSNSで知り合った友達と直接あった経験がある



N=ALL 男226、女265

SNSで知り合った友達と会った（フィルタリング有）

- ・男子では21%で変わらず、女子は5%減る

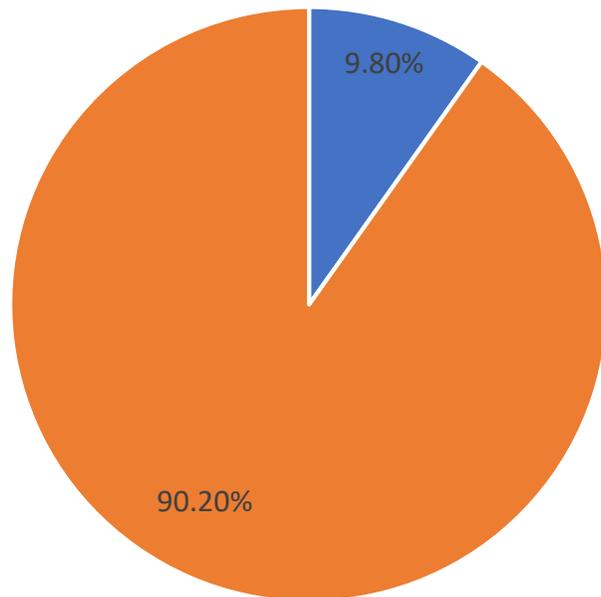


N=フィルタリングあり 男65、女102

SNSで知り合った友達と会った（家庭ルール有）

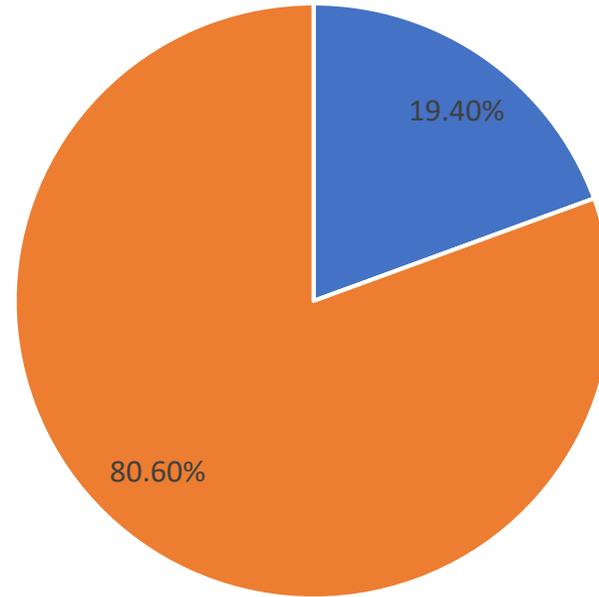
- ・家庭でスマホ使用ルールを定めると、外部者と直接会う率が男子は11%、女子は5%減る

男



■ ある ■ ない

女

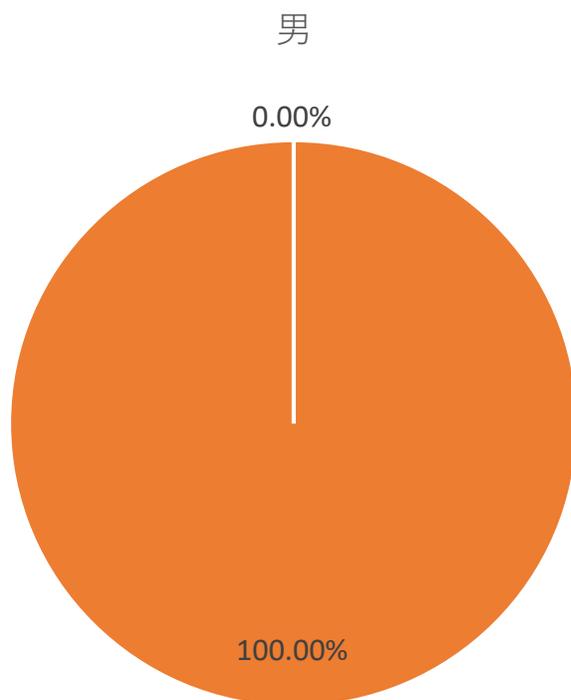


■ ある ■ ない

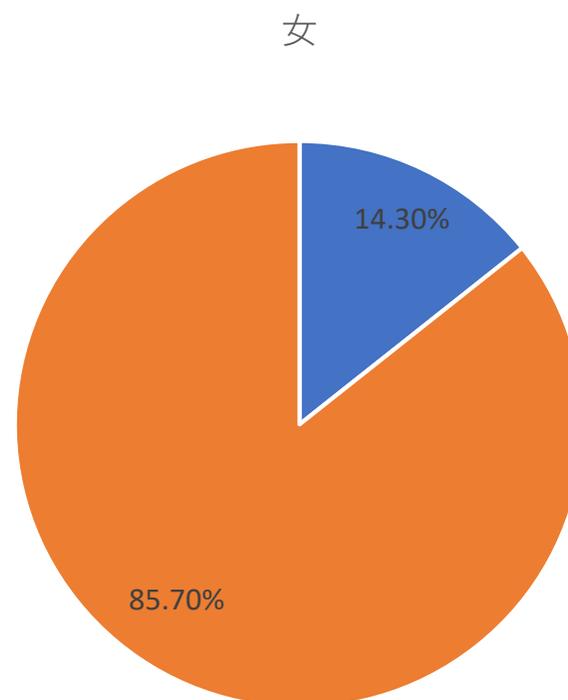
N=家庭ルールあり 男31、女67

SNSで知り合った友達と会った（フィルタリング&家庭内ルール）

- ・フィルタリング利用者で家庭でスマホ使用ルールを定めている場合、男子では発生件数がなくなり、女子では10%減った



■ ある ■ ない



■ ある ■ ない

N=フィルタリング & 家庭ルール 男15、女35

- 1、スマホの使用時間は、平日は2~3時間、休日4~5時間に中央値がある
- 2、スマホの勉強での利用は51%で平日、休日とも女子の方が進んでいる
- 3、スマホの利用時間は、地域による差は小さい
- 4、スマホ利用頻度はSNSや趣味との相関が強く、利用時間はゲームとの相関が強い
- 5、SNSの利点を連絡の容易性、共有性と認識
- 6、面識のない人からのアプローチが男女ともあり、女子の方が多い
- 7、SNSを使っでの「いじめ」は一定数発生している
- 8、男女ともスマホの使用は勉強に影響を与えると認識している
- 9、フィルタリングを使用するとは面識のない人との接触率は一定程度減る
- 10、家庭内ルールを設定すると、面識のない人との接触率は、フィルタリング使用と同程度に減る
- 11、Twitter、Instagram主利用者は、主利用者以外と比べると、面識のない人との接触率が高い

発表資料から見えるキーワード（ボリュームゾーンから）

1、子供たちが求めている部分

- ・ コミュニティー・・・宮城、山形、石川、奈良、高知、長崎、大分、
鹿児島
- ・ 調べもの・・・宮城、高知、佐賀、長崎、大分
- ・ 承認欲求・・・帯広、宮城、山形、長野、静岡、福岡

2、子供たちが懸念している部分

- ・ デマ等誤情報・・・新潟、石川、静岡、奈良、佐賀、長崎、大分
- ・ 情報流失・・・宮城、山形、静岡、愛知、長崎、鹿児島
- ・ いじめ・・・宮城、静岡、愛知、大阪、鹿児島
- ・ 依存・・・札幌、長野、静岡、長崎、鹿児島

3、ボリュームゾーンから見える子供たちの姿とキーワード